



令和8年1月
英田小学校

おうちのひとといっしょに
よみましょう。

あけましておめでとうございます。今年度も、残すところ後3か月となりました。今年も、安心安全でおいしい給食を提供できるよう、調理室職員一同頑張ります。本年もどうぞよろしくお願ひします。

今年はうま年！

よい1年になるように、1日1日を
大切に過ごしましょう！



うまのように野菜を
たっぷり食べよう！



箸をうまく使いこなして
きれいに食べよう！



よく味わってうまい味
を感じよう！

1月24日～30日は「全国学校給食週間」です

学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の私立忠愛小学校で貧しい子どもたちへ食事を提供したことが始まりです。その後、各地に広まりましたが、戦争による食料不足で中断されてしまいました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年12月24日にLARA（アジア救援公認団体）から給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

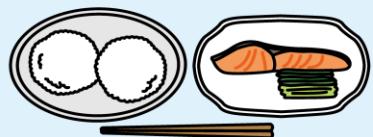


全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などを知り、
学校給食についてあらためて考えてみましょう。



学校給食の移り変わりを見てみよう！

明治22年



私立忠愛小学校
で提供されたとさ
れる給食。

戦後(昭和20～30年代)



支援物資の脱脂粉乳
や缶詰、小麦粉などを
使った給食。

現在



地域でとれる旬の食材を取り入
れ、郷土料理や行事食、世界の料理
など、食育の教材となる給食。